

仮設鋼材損料計算書

(1) 鋼矢板損料算定計算書

リスト	矢板の名称	形状	施工延長 (m)	最大スパン長 (m)	使用回数 (N)	矢板種類 (矢板幅)	1枚当たり 矢板長 (m)	矢板枚数 (枚)	損料条件 (日以内)	m当り重量 (t/m)	使用矢板重 量 (t)	供用日数 (a)	使用賃料 (t/日)	1現場当たり修 理費及び損耗 量 (c)	補正率 (N+1)/2	損料金額 (F)
	軽量鋼矢板Ⅱ型	250×2.5×36h	149.00m	45.00	4	0.250	2.0	360	90	0.0148	10.656	24	130	5,500	2.50	180,061
合計											10.656	24.2125				180,061

(2) 切梁・腹起こし材等の鋼材損料算定根拠

リスト	名称	形状	支保段数 (段)	用途	使用数量 (n)	単位	単位重量 (t /mor枚)	重量 (t)	損料条件 (日以内)	基本料金 本/日・枚/日 m ² /日	使用損料	供用日・月 数 (日・月)	使用賃料 (a)	基本料 (b)	損料合計 (a) + (b) * (n)	
				面積m ²												
支保及び受桁	7㍓水圧サート	1100×1800 標準型	1	支保	2	本				103.0	206	2	412	500		1,412
	7㍓製腹起し	110-120-4000	1		2	本				43.5	87	2	174	500		1,174
	手動式水圧ポンプ	タンク容量15-19㍓			1	台				154.0	154	2	308	500		808
リスト	名称	形状	支保段数 (段)	用途 面積m ²	使用数量	単位	単位重量 (t /mor枚)	重量 (t)	損料条件 (日以内)	基本料金 t /日・枚/日 m ² /日	使用損料	供用日・月 数 (日・月)	使用賃料 (a)	1現場当たり修 理費及び損耗 単価 (c)	1現場当たり修 理費及び損耗 量 (b)	損料合計 (a) + (b)
仮設 鋼材																
合計																3,394

※腹起し、切梁、は日あたり損料。覆工板は月あたり損料。
※敷き鉄板損料は「建設物価-仮設鋼材賃料料金」参照。

損料合計額
183,455

数値根拠											
矢板2.0m	施工延長	管路土工 36.0+45.0+45.0+23.0			149.00m	矢板2.5m	施工延長	既設MH接続部			3.60m
	1箇所あたり 最大スパン	36.0m					3.6m				
		45.0m									
		45.0m									
		23.0m									
	転用回数						転用回数				
供用日数	149.0m/日進量8.0m≒18.6日×不稼働率（1.3）			24日	供用日数	3.6m/日進量8.0m≒0.45日×不稼働率（1.3）			1日		
矢板3.0m	施工延長					矢板3.5m	施工延長				
	1箇所あたり 最大スパン						1箇所あたり 最大スパン				
	転用回数						転用回数				
供用日数					供用日数						